

● 展示会場

第一会場：1階 新潟日報情報館「COMPASS」

開場時間：10時 - 18時

第二会場：20階 360° 展望回廊「そらの広場」

開場時間：8時 - 23時

● イベント

「市山流 踊りと芸妓のエキシビジョン」

表象文化論学会共催

11月9日（日）12時より

市山七十世解説 芸妓5人によるうたと踊り

新潟日報メディアシップ20階

ギャラリースペース（参加無料）

写真 右：中俣正義撮影、下：市山家所蔵



2014年 地域映像アーカイブ 大学と地域 新たな連携による映像展示

にいがた 市山流 その踊りと芸妓の魅力



主催：新潟大学人文学部、新潟日报社

2014年11月1日（土） - 11月14日（金）

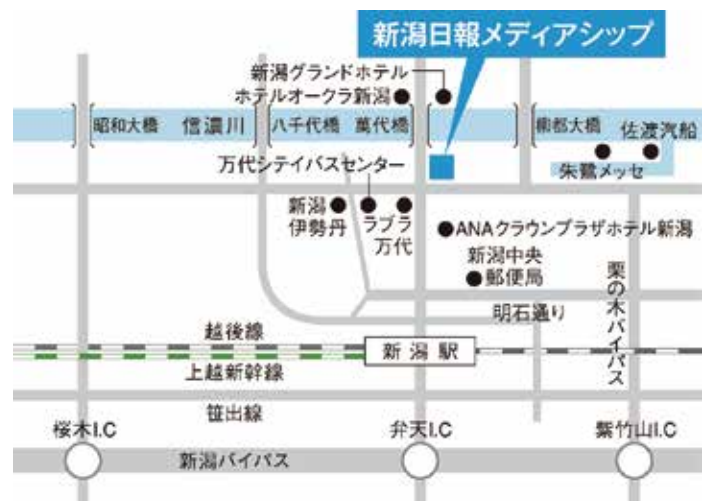
新潟日報メディアシップ

1階・新潟日報情報館「COMPASS」

新潟市中央区万代3丁目1-1 TEL 025-385-7175

■ 新潟駅より タクシー5分、徒歩10分

入場無料



2014年 地域映像アーカイブ
大学と地域 新たな連携による映像展示

にいがた 市山流 その踊りと芸妓の魅力

2014年11月1日-11月14日



新潟大学地域映像アーカイブセンターと新潟日報メディアシップ連携展示の第1回目(2013年11月)では「新潟地震」を特集したいへん好評を博しましたが、第2回目の今回は、新潟の粋、市山流の踊りと芸妓の魅力を写真と映画で解きほぐしたいと思います。そこで、この展示では、新潟美人として観光化された芸者のイメージだけではなく、芸妓の仕事現場や生活者としての姿や、芸を披露する表現者としての面からも迫ります。

1F情報館では、1950年代から1960年代にかけての古町、西堀、本町などの写真や絵葉書を展示をします。さらには、新潟美人の典型ともされる芸妓たちの姿や料亭や日常生活の芸妓たちの姿を写した行成亭の戦前の映画や、中俣正義による写真も展示します。さらには昭和38年の市山七十七郎研踊会の記録映画を上映します。

また、メディアシップ20Fのギャラリースペースでは、市山家に残された戦前の写真から、芸妓が表現者として踊る姿を写した写真を展示します。

今回、新たに発見された写真と映画によって、にいがた芸妓の新たな一面をご堪能いただければ幸いです。

なお、開催期間中、表象文化論学会との共催にて、「市山流踊りと芸妓のエキシビジョン」と題し、市山流家元市山七十七世による解説とともに、芸達者な5人の芸妓連によるうたと踊りを披露いたします。

是非とも、ご来場いただければと思います。

新潟大学地域映像アーカイブセンター
原田健一



写真 上3枚：中俣正義撮影
右下：市山家所蔵